

札幌市高齢者の社会参加支援の在り方検討委員会

第3回会議 議事次第

日 時 平成28年(2016年)6月8日(水)
14時～
場 所 TKP札幌ビジネスセンター
カンファレンスルーム5A

1 開 会

2 議 事

(1) 今後の取組内容

ア 事務局説明

- ・ 第2回会議振り返り 【資料1】
- ・ 関連事業 【資料2～4】

イ 意見交換

- ・ 今後の取組内容について 【資料5-1～5-3】

(2) 調査内容

ア 事務局説明

- ・ 調査項目 【資料6-1】
- ・ 調査票案 【資料6-2、6-3】

イ 意見交換

- ・ 調査内容について

3 閉 会



配布資料

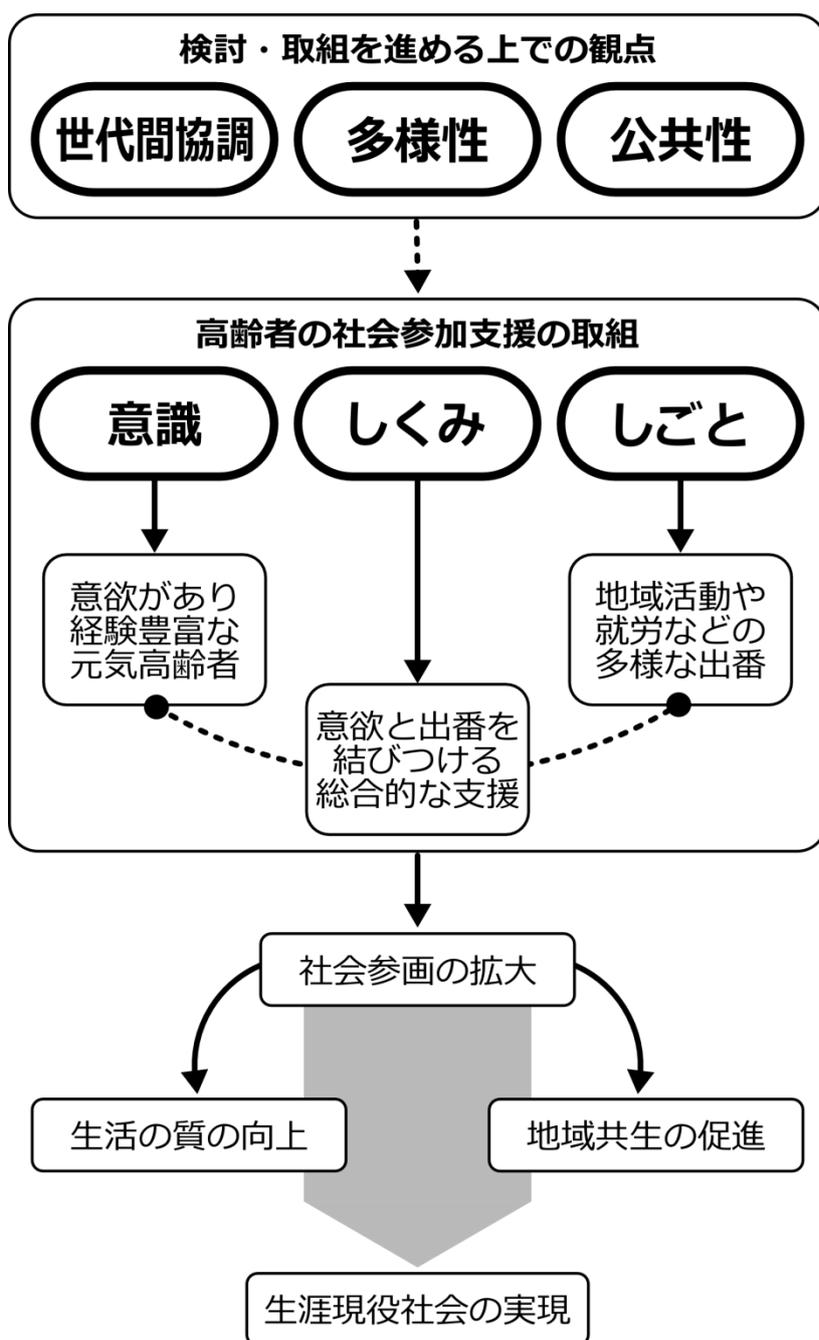
- 資料 1 取組の方向性と課題（第 2 回会議振り返り）
- 資料 2 関連事業一覧（地域活動関係、市民自治推進室所管）
- 資料 3 関連事業一覧（地域福祉関係、保健福祉局所管）
- 資料 4 関連事業一覧（高齢者雇用関係、経済観光局所管）

- 資料 5-1 取組内容検討シート（「つづける意識」をつくる）
- 資料 5-2 取組内容検討シート（「つなげるしくみ」をつくる）
- 資料 5-3 取組内容検討シート（「やりたいしごと」をつくる）

- 資料 6-1 社会参加に関する市民意識調査 調査項目（案）
- 資料 6-2 調査票（案）（65 歳以上対象）
- 資料 6-3 調査票（案）（64 歳以下対象）

取組の方向性と課題（第2回会議振り返り）

第2回会議では、取組の方向性と課題について、意見交換を行いました。各委員からの意見を、3つの観点から見た課題と、3つの取組の方向性として分類し、整理しました。



1 各観点から見た課題

各委員からの意見を《世代間協調》、《多様性》、《公共性》の3つの観点に分け、第1回会議での意見も含めて、各観点から見た課題を整理しました。

(1) 世代間協調の観点

第2回会議でのご意見
・既存事業を生かし、年代を超えて子育てや健康づくりなどに取り組む、世代間が支え合えるものにできないか。(はつらつシニアサポート、介護サポートポイント等)
・75歳以上の方は無料だというと、恥ずかしいという人もいる。年をとったら安くするということは差別なので、止めなければならない。かわいそうだとか、高齢者は何もできない存在だというのは失礼な話。
・既存事業一覧を見ると、高齢者へのご褒美の要素が強い。同じようなサービスを子どもは受けているか。老人福祉センターのような施設は子どもにはない。高齢者だけが入れる風呂があるのは不思議な感じがする。
・ねんりんピックは、年齢で区切るのは仕方ないとしても、高齢者だけではなく、若い人と組む競技があると参加の幅が広がるかもしれない。
・ラジオ体操は効果的と思う。企業でも町中でもやるといい。介護予防にもなるし、子どもにもできるので交流の場にもなる。
・高齢者とは何歳からかと思うくらい元気な人は元気なので、世代間協調の観点のもと、多世代(全体)をつなげる仕組みがあるとよいと思う。

世代間協調の観点

高齢者の社会参加支援を考えるに際し、高齢者だけではなく多世代の協調を図る必要がある。世代の相互理解があった上で、分かち合い、補い合い、支え合えるような世代間の協調関係を築く観点を持つ。

- ➔ 年齢で線引きをせず、多世代が共に活動できること
- ➔ 高齢者の集まりだけではなく、世代を超えて交流できること
- ➔ ある世代が一方向的に支えられるのではなく、支え合える関係を築くこと
- ➔ 年齢だけを理由に切り分けたり、優遇する年齢差別を解消すること

(2) 多様性の観点

第2回会議でのご意見
・高齢者やボランティアを考えるときに、札幌のように人口が多く地域が広いところでは相手の顔がわからないため、退職して何をしたいのか全くわからない。ニーズが把握されないまま政策が作られやすい。
・色々なことが行なわれていて、色々な人がいて、色々な関心があって、ものすごく多様。多様さのため、物事がわかりにくくなっている。
・健康、個人の環境により参加したいけどできない人がいる。そういう人をどのくらい多く取り込むことができるか。
・団塊の世代が活動の核になっていない。団塊の世代の気持ちに既存事業は合わない。町内会についても団塊の世代の参加を期待していたが、団塊の世代が町内会に入っていない。団塊の世代の人にじっくり話を聞いて、施策の転換をする最後のチャンスかもしれない。
・団塊の世代が入っていない問題は、老人クラブにも同じことが言えるだろう。伝統的につながってきているが、後継者がいなくなっている。
・ねんりんピックは、自主的なラジオ体操の会の支援に変えたほうがよい。情報交換の機会にもなり、マラソンなどへの挑戦する意欲になる。

多 様 性 の 観 点
高齢者の社会参加支援を考えるに際し、性別・年代・世帯構成・居住地域・健康状態などによる多くの差異に配慮する必要がある。個別的な条件やニーズなど、多様性に応じられる幅広い選択肢を確保する観点を持つ。
→ 多様さに応えるため、ニーズを的確に捉えること
→ 属性や生活環境などによる差異に配慮すること
→ これからの高齢者についても考慮に入れること

(3) 公共性の観点

第2回会議でのご意見
・行政は税の配分役であり、支援すべきことが何か考えなくてはならない。
・福祉除雪の担い手は50～70歳代の方が7割くらい。各地区福祉のまち推進センターでは見守りや生活支援活動で、高齢者が役割を担っている。
・ねんりんピックが始まったときと異なり年代別の競技大会が多くあり、他の大会には個人負担で参加している。派遣事業は役割を終えていると感じる。時代的にも思い切って見直しをした方がよい。
・介護サポートポイントの効果で、他の予算が減るとはつきりすれば、もっとダイナミックにやればよい。予算をつけて、大量に動員をかける。
・敬老優待乗車証の事業費の大きさに対して、他の事業費は小さく、バランスが取れていない。
・札幌市は歩いて暮らせるまちづくりに取り組んでいる。公共交通に乗らなくても住んでいる地域で活動できる場所が整備されるとよい。敬老優待乗車証の予算はだんだん減らし、他に使うようになるとよい。
・コーディネートセンターのような仕組みを作るのなら、敬老優待乗車証の予算で賄えるのではないか。
・敬老優待乗車証を上限まで使う人は、元気で、支援の必要のない人。自身も交付を受けているが、もったいないと思う。その予算を使いたいところは他にたくさんある。
・高齢者の割合が大きくなると「高齢者だからサポートする」という考え方をやめましょうという見方が出てくる。経済的に困っている人はサポートされてもよい。健康で、収入・所得もある人には必要ない。経済的な状況などに合わせて敬老優待乗車証の対象者を絞り、高齢者以外でも他の事情で困っている方にも同じような優待を与えるのがフェア。
・敬老優待乗車証は不公平。体の弱い人は公共交通に乗れない。
・7万円は多いかもしれないが敬老優待乗車証は必要。生きがい、楽しいことはなければならない。健康なら集まって「今月はどこへ行こうか」となる。それが高齢者の体力づくりや、よいまちづくりに貢献する。
・生活に困っている人は増えている。金額の設定には考慮が必要だとは思いますが、社会参加という意味でも敬老優待乗車証の優待は大事。
・負担の在り方は、バランスの問題。福祉除雪は、協力員・市・利用者の負担のバランスを取りながら実施している。市のスタンスを示し、福祉除雪をモデルに、他の事業でも試し、財源を見出すことが必要。
・高齢者福祉バスも、高齢者だけを対象にしなくてもいい制度だと思う。

公共性の観点

高齢者の社会参加支援を考えるに際し、目的を明確にし、限られた財源を効果的かつ効率的に活用する必要がある。社会参加を、個人の幸福だけではなく公共の福祉にも資するものとする観点を持つ。

- 取組の効果を当事者だけでなく、地域や他世代に波及させること
- 行政が公的に支援する必要がある対象・内容・程度等を整理すること
- 市民参加や受益者負担など、自助・互助・公助の均衡を図ること
- 公平性や必要性に照らして適切に財源を配分とすること

2 各方向性の検討項目

各委員からの主な意見を、「つづける意識」をつくる》、「つなげるしくみ」をつくる》、「やりたいしごと」をつくる》の3つの方向性に分けて整理し、第1回会議での意見を含め、各方向性の検討項目について整理しました。

(1) 「つづける意識」をつくる

第2回会議でのご意見
・意識改革が最初であれば、既存の事業を活かすということができる。
・就労も含めて高齢の方々がこれまでの経験や知識を活かして引き続き社会に尽くしていただけると、健康の保持や介護予防にも繋がると思う。
・何か活動をしたい人はたくさんいると思うが、参加できない人もいる。参加したい人がきちんと参加できることが大事。
・連合町内会ぐらいの範囲でなければ、誰が何をやっているか活動が見えない。見えないと、無関心になる。
・広報さっぽろでも町内会の特集やPRは何度もあったが、町内会ではこういった活動をしているというような例をいくつか挙げて特集して出せるといい。町内会に入っていない人にはなかなか伝わらない情報なので、そういった部分には行政につなげるものとして担ってもらいたい。
・町内会に行って、こんなボランティアをしている人やこういう社会活動している人がいっぱいいますよ、と説明する。すると活動に参加してみたいという人がでてくる。
・ラジオ体操の会。地元の会の会長をやっているが、運営にお金はかからなくてよい。問題は世代交代ができないこと。団塊の世代が入って人数は増えたが、核になってもらえない。
・「つづける意識」というと現役のときから接している必要があるので、世代間協調という観点で言うと、高齢者用としない方がよい。年齢に関わらない仕組にしてあげると、学生や企業人の頃から使えるので、そのまま入っていける。
・老人クラブという言葉自体が問題。なかなかいいネーミングがない。シニアとか、つけないほうがいい。年齢で切るのは、うまくいかない原因。

つづける意識

年齢によらず社会との関わりの中で持てる能力を発揮し、できる人ができることをする意識を社会全体で共有するための取組が必要である。誰もが生涯にわたって社会の一員でありつづけるという意識づくりが求められる。

→ どのように意欲を高めるか？

- ◇ 動機付け（やりがい、楽しさ、帰属感、責任感）
- ◇ メリット（生きがい、健康増進、仲間、報酬）
- ◇ 関心や興味（活動の意義、具体的イメージ）

→ どのように「生涯にわたる社会参加」を社会の共通認識とするか？

- ◇ 「高齢者」の捉え直し（ご褒美型から生涯現役へ、社会の一員として活動）
- ◇ 年齢での線引きをしない（できる人ができることを、高齢者に限定しない）

(2) 「つなげるしくみ」をつくる

第2回会議でのご意見
<ul style="list-style-type: none"> ・社会参加したい人をきちんと導く、相談を支援するセンターのようなものをきちっと用意することが必要だと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の社会参加の場面は様々な分野があると思うので、一括りにして支援や参加促進を図れるような、窓口、組織、機関があればよいと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・個々のアイテムごとに違う仕組みだと非常にわかりにくい。全ての活動に共通するようなポイント制度のようなシステムがあれば全て共通の枠組で考えられる。
<ul style="list-style-type: none"> ・個々の事業が他部局にまたがり、繋がっていないと感じるので、全体をつなげる仕組みを作ってはどうか。
<ul style="list-style-type: none"> ・特にこれからの高齢者を考えると、コンピュータやスマートフォンを使える人が多いので、検索システムがあり、そこで、色々申し込んだり、利用すればお金がかかったり利益を得たりなど、そういう仕組みを作るともっとわかりやすくなると思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・小学生や中学生もインターンシップで体験に来たり、年齢を問わず、社会参加できる仕組みづくりがある。高齢者の社会参加の委員会だが、子育て中の人も参加できる仕組みづくりが考えられたらと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・全部をつなげる一つの情報システムに、お金の流れも入っていると、アイデアを提供してくる人も出てきたり、スモールビジネスが出てきて、かなりの部分の肩代わりになると思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・地域は人材不足。自分たちでボランティアバンクを立ち上げを準備している。コーディネートを丁寧にやらなければ、マッチングされない。マッチングを丁寧にやると人件費がかかるので費用が問題になる。利用者負担だけでは足りていない状況。
<ul style="list-style-type: none"> ・全国で収益を上げられる仕組みの成功事例の勉強会があればよい。市民まちづくり局のリーダー育成も浸透していないようなので、仕組みを考える勉強会など、年代に関係なく事業家を育てることができたらいいと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・町内会は札幌市内で好事例がたくさんあるので伝える。子育て支援についても好事例は知っているようで、知らないでいる市民も多いので、そこから学ぶことが、「つながる」ということではないかと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・SAPICA で、ボランティアでポイントが付くものがあった（まちのわ）。それをもっと活用することで、全体をつなぐプラットフォーム的な仕組みにもなるかもしれない。ポイントを貯め、利用する媒体になり、他の施策と共通する部分があるとわかりやすくてよい。

つなげるしくみ

高齢者が実際に社会参加するために、活動に参入する契機を得られ、活動しやすくするための学習や訓練を受けられ、仕事や活動に出会えるなど、意欲と役割を結びつけるための取組が必要である。参加を後押しする仕組づくりが求められる。

➔ どのように社会参加のきっかけをつくるか？

- ◇ 情報発信（活動内容の紹介、チラシ等でのPR）
- ◇ 学習や訓練（活動体験、スキルアップ）

➔ どのように意欲を活動につなげるか？

- ◇ 共通基盤（分野にまたがる総合的窓口、ポイント制度、情報システム）
- ◇ マッチング（情報集約、人材バンク、丁寧なコーディネート）

(3) 「やりたいしごと」をつくる

第2回会議でのご意見
<ul style="list-style-type: none"> ・多くの活動の場が地域にはある。社会福祉の分野だけでなく社会教育の場面でも、学校教育の場面でも地域の高齢の方が参加できる場がたくさんあり、多くの方に参加し支えてもらってはいるが、これからもまだまだ深く広く、開拓できる要素があると感じる。
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の就業（収入）の問題があり、他の世代の場合もそうだが、何かやるときに費用を持ち出さなくてはならないというものがある。高齢者についていえば、収入が確保できれば、もっと色々な活動ができるので、収入に繋がるように作ってあげれば、いいと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・除雪も今はボランティアでやっているが、考えてみれば、お金にできること。福祉ベースで有料で動いているものを組織として動けるものが作れば、年齢に関係なく、子育て中のお母さんも利用できるものになるかもしれない。
<ul style="list-style-type: none"> ・事例として、行政がまかないきれないところをシニアがボランティアで担うNPO法人の有償ボランティアがある。（家事援助、介護、介助、保育、見守り、病院への送迎、除雪など。1時間700円のチケットを買って、サービスを受ける。）
<ul style="list-style-type: none"> ・収益性のあるものをやるといい。行政がどう関わるかという問題はあるが、民間企業や地元の組織と協力することで、企業の利点を活かしながら様々な機会を生み出すことができる。

やりたいしごと

志向や健康状態などの異なる多くの高齢者が、積極的に、また、無理をすることなく社会参加をするためには、具体的で明示的な選択肢が必要である。関心や条件に応じて自ら選び、役割を実感できるしごとづくりが求められる。

➔ どのように今ある「しごと」の魅力をより高めるか？

- ◇ 役割づくり（役割の具体性、経験を活かす）
- ◇ 活動しやすさ（自宅から近い、短い時間、少ない日数）

➔ どのように新たな「しごと」をつくるか？

- ◇ 活動の立ち上げや起業（立ち上げ補助、運営指導）
- ◇ 企業や団体との協働（法人運営の町内会、提携による機会創出）

関連事業一覧（地域活動関係、市民自治推進室所管）

事業名	平成28年度予算	事業開始年
① 住民組織助成金	2億1,740万円	昭和47年
趣旨：地域住民相互の連帯感の醸成を図り、心のふれあう温かい地域社会の形成を支援するため、町内会等住民組織の自主的な運営や活動費用の一部を助成金として交付することで側面的な支援を行う。 概要：①連合町内会助成金：均等割＋世帯割 73,850千円 ②単位町内会助成金：基準割＋世帯割 130,450千円 ③地区会館維持管理助成金：清掃費助成＋運営費助成＋管理人手当助成 13,100千円	主な制度変更 H19 連合町内会助成（世帯割）増額 40円→100円 市の課題認識 ●少子高齢化が進行する中で、防災や地域安全、地域内の支え合いなど、地域において町内会が担う役割が大きくなっている	
② 地域活動の場整備支援事業	6,650万円	平成24年
趣旨：地域ニーズや地域課題解決に向けた地域のまちづくり活動の活性化を目的とし、地域交流拠点を軸に地域の繋がりの拡大と地域コミュニティの活性化を図る。 概要：地域課題の解決に向けた地域のまちづくり活動を活性化させる企画提案（ソフト事業）を募集し、提案が採択された市民グループに施設改修などのハード整備を対象とした補助金を交付する。	主な制度変更 H24 創造力実現事業4件（500万円）、市民集会施設高機能化事業5件（1,000万円） H28 一般枠10件（500万円）特別枠1件（1,000万円） 市の課題認識 ●地域のまちづくり活動活性化や拡大に結びつく場の整備	
③ 町内会活動総合支援事業	3,140万円	平成26年
趣旨：町内会活動を多面的かつ継続的に支援するため、メディアを活用した加入啓発や不動産関連団体などとの連携に取り組むほか、地域の実情を踏まえた加入促進などに対する取組などを支援 概要：地域活動の中核を担う町内会活動をより活性化することを目的に、町内会活動への意識啓発、町内会自体の活動の支援、不動産関連団体等と連携した取組などを実施し、町内会活動の底上げを図る。 ①町内会加入促進意識啓発 ②町内会活動活性化支援 ③不動産関連団体等との連携（チラシ作成等） ④町内会シンポジウム ⑤不動産連携（検討会）	主な制度変更 H27 町内会活動支援シンポジウム実施 町内会アドバイザー派遣制度実施 町内会担い手育成塾実施 H28 不動産連携（検討会）実施予定 市の課題認識 ●子育て世代など、若い世代に対する町内会活動への参加をどのように促していくか	
④ 次世代の活動の担い手育成事業	600万円	平成26年
趣旨：地域活動への参加のきっかけづくり、意識啓発、教育・意見交換等を各世代ごとに、対象に合わせた取組を行い、かつ一体的に運用することで、効果的に地域への参加意識の底上げを図り、次世代の地域活動の担い手を育成する。 概要：①小学生：子どもまちセン所長体験 ②中学生：地域との座談会 ③高校生：ごみ拾いなどの地域活動への参加機会の創出 ④学生・若者：若者を対象にしたイベントやまちづくり参加促進大使による地域活動の実践、情報発信等の実施、大学生と地域を結ぶマッチングバンクの試行	主な制度変更 H27 「学生参加による地域活動マッチングバンクモデル事業」を新たに追加 市の課題認識 ●小学生から大学生・若者まで、各世代で継続的に取り組む必要がある	

事業名	平成28年度予算	事業開始年
⑤ 地域マネジメント推進事業	1,040万円	平成26年
趣旨：地域ごとに異なる地域特性や課題を共有し、その課題解決や将来像に向けた活動について話し合うことで、地域が一体となるまちづくり活動の推進を図る。 概要：地域の特性や課題などを地域住民が共有するための勉強会などを開催するとともに、将来の展望とその実現に向けた活動指針である「地域まちづくりビジョン」策定のためのワークショップ開催などを支援する。	主な制度変更 H28 地域まちづくりビジョンスタートアップ助成金制度の開始 市の課題認識 ●地域自らが課題解決をしていく上で、地域ネットワークの構築をどのように促進していくか	
⑥ 地域まちづくり人材育成事業	880万円	平成26年
趣旨：市民力を結集した地域課題の解決を促すため、コーディネーターの育成を強化し、育成した人材をまちづくり活動団体などへアドバイザーとして派遣するなどの仕組みを検討する事業。 概要：まちづくり活動団体の課題解決能力の向上を図る人材を育成するためのセミナー、ワークショップ、実践活動の体験等を行う。	主な制度変更 H26年度から、まちづくり活動の人材育成に係る事業を実施 市の課題認識 ●人材育成の方法のほか、育成した人材を有効に活用するための仕組みづくりの検討が必要	
⑦ 地域課題解決のためのネットワーク構築事業	1,400万円	平成25年
趣旨：地域の多様な活動主体の連携・協力により、地域の課題解決や活性化につなげるとともに、新たな連携関係構築を促す。 概要：多様な活動主体同士（NPO、町内会等、事業者等）が連携・協力して新たな地域課題を解決するための取組を支援（5団体程度）。 地域との連携関係構築を促すため、NPO、事業者を地域へ紹介・派遣するとともに、課題解決事業の立案や継続に関する研修等を実施。	主な制度変更 H28 地域課題解決事業の応募対象を拡大（NPO→NPO、町内会等、事業者等） 市の課題認識 ●地域と活動団体の継続的な連携・協力関係の確立	
⑧ 市民まちづくり活動促進基金（さぽーとほっと基金）	8,209万円（助成金分）	平成20年
趣旨：市民や事業者の寄附により、福祉や子育て、青少年育成、地域の安心・安全等、市民によるまちづくり活動を支援する基金制度。 概要：寄附を財源として、市民まちづくり活動の事業費の一部を助成する。助成の方法として、団体指定、分野・テーマ指定等があり、助成事業の公募は年2～3回実施。外部委員による審査を経て、助成の可否を決定する（団体指定助成は、毎月審査実施）	主な制度変更 － 市の課題認識 ●寄附、助成とともに、より多くの市民に活用してもらえるよう、安定的、継続的な制度の仕組みづくりの検討が必要	

関連事業一覧（高齢者雇用関係、経済観光局所管）

事業名	平成28年度予算	事業開始年
① 就業サポートセンター等事業 趣旨： 北区にはハローワークと民間事業者による官民共同窓口「札幌市就業サポートセンター」を設置し、北区を除く9区には、ハローワークと市が連携し「あいワーク」を設置し、求職者支援を行う。 概要： 札幌市就業サポートセンターでは、無料職業紹介事業のほか、独自の求人開拓や再就職支援のための各種セミナーの開催、資格取得支援、合同企業説明会を実施。 あいワークでは、ハローワーク相談員による職業相談・職業紹介のほか、札幌市相談員によるカウンセリングや各種相談窓口への案内を実施	1億7,300万円	平成16年
② (公社)札幌市シルバー人材センター運営費補助 趣旨： 高齢者が希望する就業の機会を確保し、高齢者の生きがいの充実、社会参加の推進を図るため、センターの運営を補助 概要： 60歳以上の高齢者が加入(H27 会員数3,694名) 臨時的、短期的(概ね月10日程度以内)、または軽易な業務(概ね週20時間以内)を希望する高齢者と企業・個人等を仲介	3,000万円	昭和55年

主な制度変更

—

市の課題認識

- 高齢者向けの求人開拓を行っているが、継続雇用については企業側も積極的だが、新規の募集については、企業の理解が得られづらい。
- 高齢者向けには、相談窓口での就労支援に加え、求職活動のきっかけとなるセミナー等を実施しているが、過去に経験した職種等へのこだわりから他の職種に目が向きづらい傾向がある。

主な制度変更

S55年 高齢者労働能力活用事業開始

S61年 高齢者雇用安定法改正

⇒シルバー人材センター法制化

H24年 公益社団法人へ移行

市の課題認識

- 会員数の増加に向けた支援
- 就業機会の拡充支援

取組内容検討シート

取組の方向性 1	「つづける意識」をつくる
<p>年齢によらず社会との関わりの中で持てる能力を発揮し、できる人ができることをする意識を社会全体で共有するための取組が必要である。誰もが生涯にわたって社会の一員でありつづけるという意識づくりが求められる。</p>	

どのように「つづける意識」をつくるか？

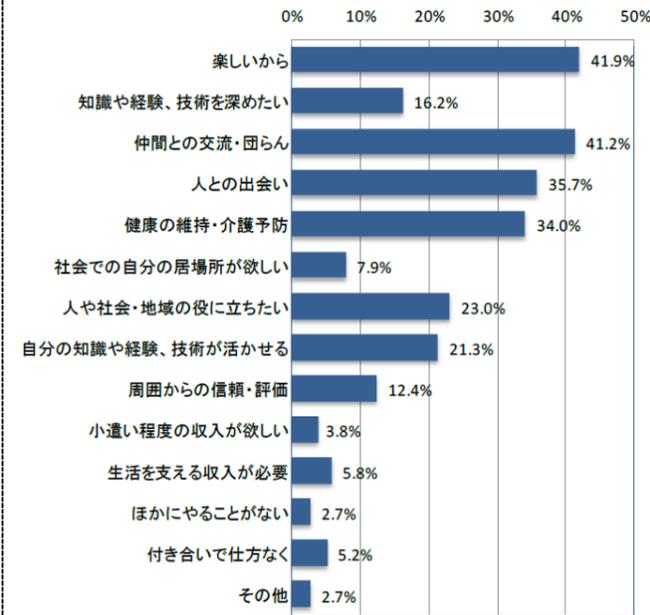
» どのように意欲を高めるか？

- ・ 動機付け（やりがい、楽しさ、帰属感、責任感、____、____）
- ・ メリット（生きがい、健康増進、仲間、報酬、____、____）
- ・ 関心や興味（活動の意義、具体的イメージ、____、____）
- ・
- ・
- ・

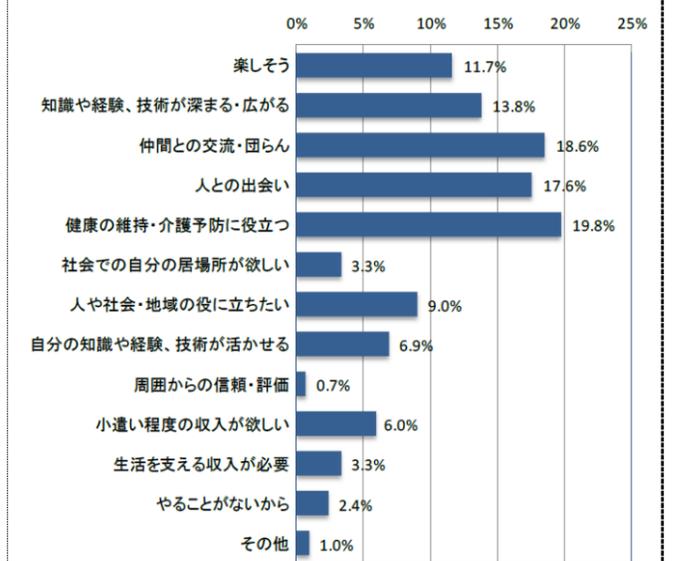
» どのように「生涯にわたる社会参加」を社会の共通認識とするか？

- ・ 「高齢者」の捉え直し（ご褒美型から生涯現役へ、社会の一員として活動、____、____）
- ・ 年齢での線引きをしない（できる人ができることを、高齢者に限定しない、____、____）
- ・
- ・
- ・

●社会に参加する活動に参加している理由・目的 (N=291)



●活動していない人が活動に参加してみたいと考える理由 (N=420)



高齢者の社会参加意識及び生活支援ニーズに関する調査（平成26年度）：札幌市保健福祉局

事例

愛知県 シニア予備軍向け社会参加啓発ガイドブック

「人生90年時代」ともいえる本格的な長寿社会に向けて、65歳以上の高齢者を「支えられる側」と捉えるのではなく、それまでに培った能力や経験を生かし、誇りを持って社会の支え手として活躍していただく生涯活躍社会の実現を目指すにあたり、主に50代の方々（シニア予備軍）向けの社会参加啓発ガイドブックを作成。

【掲載内容】

シニアの方々の活躍が期待される分野として、就労（再就職・転職・継続雇用）、起業、農業、生きがい就労、NPO活動・ボランティア、地域活動、学び直しを取り上げ、相談窓口・情報提供団体を掲載。18名のシニアの方々の活動事例を紹介。

出典：<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kikaku/aichi-presenior-guidebook.html>



取組内容検討シート

取組の方向性 2	「つなげるしくみ」をつくる
<p>高齢者が実際に社会参加するために、活動に参入する契機を得られ、活動しやすくするための学習や訓練を受けられ、仕事や活動に出会えるなど、意欲と役割を結びつけるための取組が必要である。参加を後押しする仕組づくりが求められる。</p>	

どのように「つなげるしくみ」をつくるか？

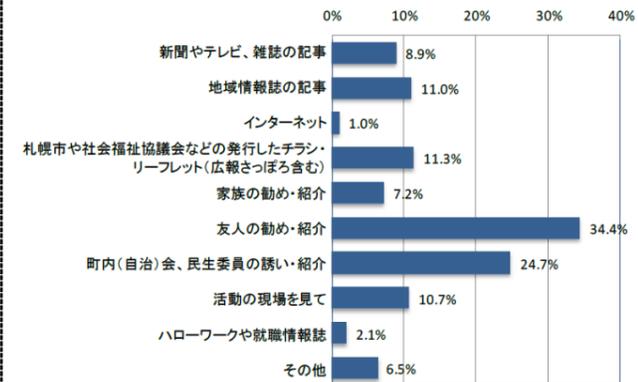
» どのように社会参加のきっかけをつくるか？

- ・ 情報発信（活動内容の紹介、チラシ等でのPR、_____、_____）
- ・ 学習や訓練（活動体験、スキルアップ、_____、_____）
- ・ _____
- ・ _____
- ・ _____

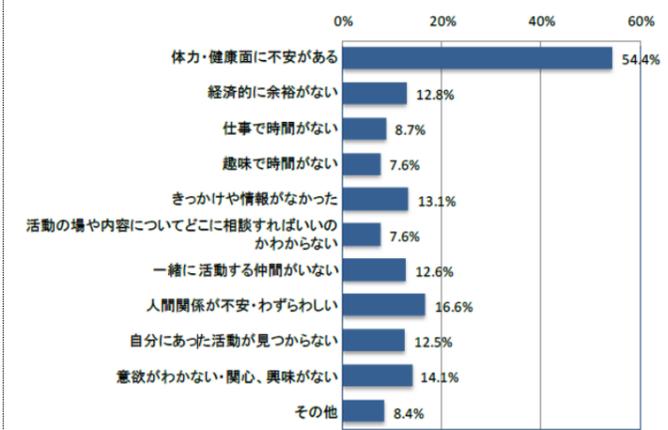
» どのように意欲を活動につなげるか？

- ・ 共通基盤（分野にまたがる総合的窓口、ポイント制度、情報システム、_____、_____）
- ・ マッチング（情報集約、人材バンク、丁寧なコーディネート、_____、_____）
- ・ _____
- ・ _____
- ・ _____

●社会に参加する活動への参加のきっかけ (N=291)



●活動していない人の参加していない理由 (N=609)



高齢者の社会参加意識及び生活支援ニーズに関する調査（平成26年度）：札幌市保健福祉局

事例

福岡県 福岡県 70歳現役応援センター

年齢にかかわらず、それぞれの意思と能力に応じて、70歳になっても働いたり、NPO、ボランティア活動等を通じて、社会で活躍し続けることができる選択肢の多い「70歳現役社会」づくりに取り組んでいる。

高齢者が多様な活躍の機会を得るために、就業や社会参加を支援する総合拠点として平成24年4月に開設。

【センターの機能】

- ・ 活躍の場を拡大（企業への働きかけ）
- ・ 就業や社会参加を支援（マッチング）
- ・ セミナーを開催（企業向け、従業員向け）
- ・ 「ふくおか子育てマイスター」の認定を支援（高齢者が地域の子育て現場での活躍を支援）



取組内容検討シート

取組の方向性 3	「やりたいしごと」をつくる
<p>志向や健康状態などの異なる多くの高齢者が、積極的に、また、無理をすることなく社会参加をするためには、具体的で明示的な選択肢が必要である。関心や条件に応じて自ら選び、役割を実感できるしごとづくりが求められる。</p>	

どのように「やりたいしごと」をつくるか？

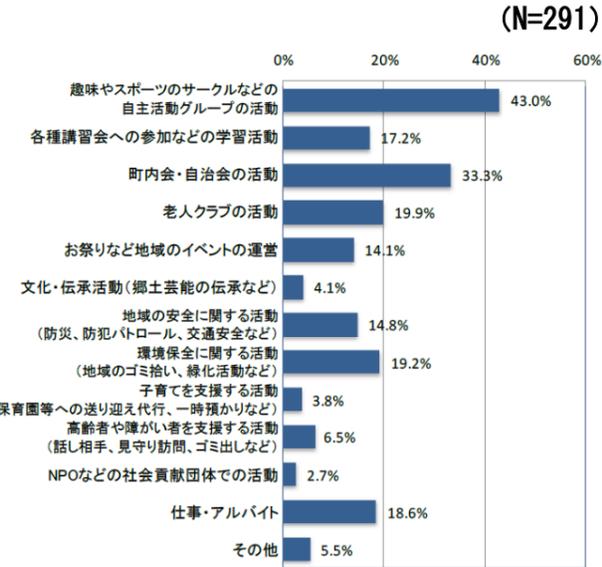
»どのように今ある「しごと」の魅力をもっと高めるか？

- ・ 役割づくり（役割の具体性、経験を活かす、____、____）
- ・ 活動しやすさ（自宅から近い、短い時間、少ない日数、____、____）
- ・
- ・
- ・

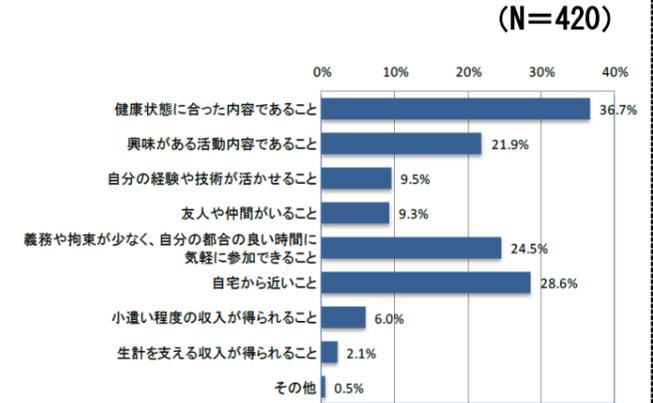
»どのように新たな「しごと」をつくるか？

- ・ 活動の立ち上げや起業（立ち上げ補助、運営指導、____、____）
- ・ 企業や団体との協働（法人運営の町内会、提携による機会創出、____、____）
- ・
- ・
- ・

●社会に参加する活動の内容 (N=291)



●活動に参加するために必要だと思う条件 (N=420)



高齢者の社会参加意識及び生活支援ニーズに関する調査（平成26年度）：札幌市保健福祉局

事例

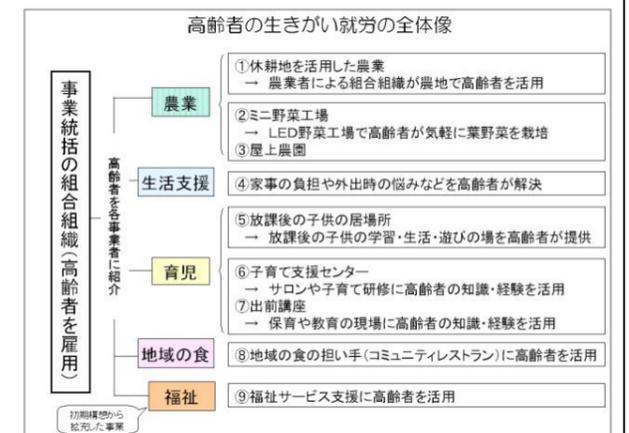
千葉県柏市 生きがい就労の創成

柏市、東京大学、UR都市機構と3者協定を結び「いつまでも自宅で安心した生活を送れるまち」と「いつまでも元気で活躍できるまち」の実現に向けたモデルプロジェクトを展開。

【柏市が創成した、生きがい就労とは】

高齢者の社会参加を促進するため、現役をリタイアした方々がこれまで慣れ親しんだ「働く」という生活スタイルと、無理のない範囲で地域や社会に貢献する「生きがい」とを結び付け、「生きがい就労」というセカンドライフの新しい就労の形を創成。

就労分野は、地域課題の解決につながる
①農業、②地域の食、③保育、④生活支援、⑤福祉、の5分野で9事業を実施



出典：<http://www.city.kashiwa.lg.jp/soshiki/060200/p008608.html>

社会参加に関する市民意識調査 調査項目（案）

項 目	番 号	設 問	
1 自身の状況	1-1	性別	
	1-2	年齢	
	1-3	居住区	
	1-4	世帯構成	
	1-5	最終卒業学校	
2 日常生活全般	2-1	健康状態	
	2-2	家計のゆとり感	
	2-3	家族関係	
	2-4	近所付き合い	
	2-5	相談相手	
	2-6	交通の便	
	2-7	自由な時間	
	2-8	意欲や能力を生かせる機会	
	2-9	社会的な役割感	
	2-10	生活全般の満足感	
3 就労	3-1	就労有無	
	3-2 (就労有)	(1)	雇用形態
		(2)	職種
		(3)	労働時間
		(4)	就労理由
		(5)	何歳まで働きたいか
	3-3 (就労無)	(1)	非就労理由
		(2)	最後に就労していた年齢
		(3)	今後の就労希望
		(4)	就労希望の理由
		(5)	就労の条件
(6)		何歳まで働きたいか	

資料 6-1

4	地域活動・ボランティア活動	4-1	活動参加有無
			(1) 活動形態
		4-2 (参加有)	(2) 活動地域
			(3) 活動内容
			(4) 参加理由
			(5) 参加のきっかけ
			(6) 何歳まで活動したいか
			4-3 (参加無)
		(2) 参加してみたい活動内容	
		(3) 参加してみたい理由	
		(4) 活動参加の条件	
		5	高齢者と社会のかかわり
5-2	若い世代（高齢者）との交流		
5-3	多世代交流の必要性		
5-4	老後の不安		
5-5	老後のイメージ		
5-6	高齢期の活動への備え ※ 65歳以上のみ		
5-7	経験のある職種 ※ 65歳以上のみ		
5-8	経験のある活動 ※ 65歳以上のみ		
5-9	高齢者に期待される（する）役割		
5-10	何歳まで社会を支える側か		
5-11	何歳から支えを要するか		
6	少子高齢社会における行政の取組	6-1	世代の負担感
		6-2	高齢者と若い世代への支援・施策
		6-3	重点的に支援すべき高齢者の社会参加
		6-4	高齢者の社会参加を推進するための取組
	自由意見	—	自由意見

- 全設問数 54問（65歳以上）
51問（64歳以下）
- 回答数 42問～45問（65歳以上）
39問～42問（64歳以下）

平成28年8月

調査票(案)(65歳以上対象)

社会参加に関する市民意識調査

- ご記入にあたってのお願い -

- ① このアンケートは平成28年8月1日現在の状況でお答えください。
- ② ご本人(封筒のあて名の方)の状況について回答してください。
- ③ ご本人が記入できない場合には、ご本人(封筒のあて名の方)の状況について、ご家族の方が答えられる範囲で代わりにご記入願います。
- ④ 回答は、調査票に直接記入してください。**名前、住所の記入は必要ありません。**
- ⑤ ご使用いただく筆記用具はどのようなものでも構いません。
- ⑥ このアンケートは回答を強制するものではありません。答えにくい質問、答えたくない質問については、記入する必要はありません。答えられる範囲でお答えください。
- ⑦ ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、平成28年8月15日(月)までにご投函ください。**(切手を貼る必要はありません。名前、住所の記入も不要です。)**

- 調査に関するお問い合わせについて -

札幌市 保健福祉局 高齢保健福祉部 高齢福祉課

TEL 211-2976 FAX 218-5179

1 ご自身の状況について

問 1-1 性別について、あてはまるものに○をつけてください。

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問 1-2 平成28年8月1日現在の年齢について、あてはまるものに○をつけてください。

- | | |
|------------|------------|
| 1. 満65~69歳 | 4. 満80~84歳 |
| 2. 満70~75歳 | 5. 満85歳以上 |
| 3. 満76~79歳 | |

問 1-3 お住まいの区について、あてはまるものに○をつけてください。

- | | |
|--------|-----------|
| 1. 中央区 | 7. 清田区 |
| 2. 北区 | 8. 南区 |
| 3. 東区 | 9. 西区 |
| 4. 白石区 | 10. 手稲区 |
| 5. 厚別区 | 11. 札幌市以外 |
| 6. 豊平区 | |

問 1-4 同居されている方はいますか。あてはまるものに○をつけてください。

- | | |
|------------------------|--|
| 1. ひとり暮らし | |
| 2. 夫婦二人暮らし | |
| 3. 家族・親族と同居(夫婦二人暮らし以外) | |
| 4. その他() | |

問 1-5 最終卒業学校(または在学中の学校)の種類について、あてはまるものに○をつけてください。

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 小学校・中学校 | 4. 各種専門学校・専修学校 |
| 2. 高等学校・旧制中学校 | 5. 大学・大学院 |
| 3. 短大・高等専門学校 | 6. その他() |

1

2 日常生活の全般について

問 2-1 あなたは、ご自身の健康状態について、どのように感じていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | |
|--------------|
| 1. とても健康 |
| 2. まあ健康 |
| 3. やや不健康 |
| 4. とても不健康 |
| 5. どちらともいえない |

問 2-2 あなたは、ご自身の家計の状況について、どのように感じていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. とてもゆとりがある | 4. まったくゆとりがない |
| 2. まあゆとりがある | 5. どちらともいえない |
| 3. あまりゆとりがない | 6. わからない |

問 2-3 あなたは、ご自身の家族関係(別居の家族を含む)について、どのように感じていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | |
|---------------|
| 1. とても良好である |
| 2. まあ良好である |
| 3. あまり良好ではない |
| 4. まったく良好ではない |
| 5. どちらともいえない |

問 2-4 あなたは、どのくらい近所との付き合いがありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | |
|-------------------------------|
| 1. 困ったときに相談したり助け合えるような付き合いがある |
| 2. お互いの家を行き来するような付き合いがある |
| 3. 立ち話をするような付き合いがある |
| 4. あいさつをする程度の付き合いがある |
| 5. 近所との付き合いはほとんどない |

2

問 2-5 あなたには、ご自身が困ったときに相談したり頼ったりできる相手(同居または別居の家族を含む)がいますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | |
|----------------------------|
| 1. 気軽に相談したり頼ったりできる相手がいる |
| 2. いざとなれば相談したり頼ったりできる相手がいる |
| 3. 相談したり頼ったりできる相手はあまりいない |
| 4. 相談したり頼ったりできる相手はまったくない |

問 2-6 あなたは、お住まいの地域の交通の便について、どのように感じていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. とても交通の便がよい | 4. まったく交通の便がよい |
| 2. まあ交通の便がよい | 5. どちらともいえない |
| 3. あまり交通の便がよい | |

問 2-7 あなたは、ご自身の楽しみや趣味などのために、自由にできる時間がありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. 十分に自由な時間がある | 4. まったく自由な時間がない |
| 2. まあ自由な時間がある | 5. どちらともいえない |
| 3. あまり自由な時間がない | |

問 2-8 あなたには、普段の生活やささまざまな活動の中で、ご自身の意欲や能力を生かせる機会がありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 十分に生かせる機会がある | 4. まったく生かせる機会がない |
| 2. まあ生かせる機会がある | 5. どちらともいえない |
| 3. あまり生かせる機会がない | |

問 2-9 あなたは、ご自身が「社会や他人の役に立っている」、「社会や他人から必要とされている」など、社会の一員として役割を持っていると感じることがありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. 日ごろから感じている | 4. まったく感じることはない |
| 2. たまに感じるがある | 5. どちらともいえない |
| 3. あまり感じることはない | |

3

問 2-10 あなたは、ご自身の生活全般について、どのくらい満足していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. とても満足している | 4. とても不満である |
| 2. まあ満足している | 5. どちらともいえない |
| 3. やや不満である | |

3 就労について

問 3-1 あなたは現在、収入のある仕事をしていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 仕事をしている → 問 3-2へ進んでください。
2. 仕事をしていない → 問 3-3へ進んでください。

問 3-2 問 3-1で「1. 仕事をしている」に○をつけた方にうかがいます。

(1) どのような雇用形態で仕事をしていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. 正社員・正職員 | 5. 自営業（家族の手伝いを含む） |
| 2. 契約社員・嘱託 | 6. 会社・団体の役員 |
| 3. パート・アルバイト | 7. その他（ ） |
| 4. 派遣社員 | |

(2) どのような内容（業種）の仕事をしていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|-------------|-------------------|
| 1. 事務 | 9. 製造・生産 |
| 2. 販売・営業 | 10. 交通・運輸 |
| 3. 調理 | 11. 建築・土木 |
| 4. 保育・子育て支援 | 12. 通信・IT |
| 5. 教育・学習支援 | 13. 公安・警備 |
| 6. 医療・看護 | 14. その他専門職（弁護士など） |
| 7. 介護・福祉 | 15. その他（ ） |
| 8. 農林漁業 | |

4

(3) 1週間の所定の労働時間（残業時間を除いた労働時間）はどのくらいですか。もっともあてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 週 35 時間以上 | 5. 週 15～19 時間 |
| 2. 週 30～34 時間 | 6. 週 10～14 時間 |
| 3. 週 25～29 時間 | 7. 週 10 時間未満 |
| 4. 週 20～24 時間 | 8. その他（ ） |

(4) 仕事をしている理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 生活費のため | 8. 社会の役に立ちたい |
| 2. 将来に備えて貯蓄するため | 9. 健康の維持・介護予防に役立つ |
| 3. お小遣い程度の収入がほしい | 10. 同僚との交友関係を持ちたい |
| 4. 知識や経験が深まる・広がる | 11. 何もしないと退屈 |
| 5. 知識や経験が生かせる | 12. 特に理由はない |
| 6. 生きがい得られる | 13. その他（ ） |
| 7. 社会人としての責任 | |

(5) 現在の仕事に限らず、今後、何歳ぐらいまで仕事をしたいと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. 働けるうちはいつまでも | 5. 80 歳ぐらいまで |
| 2. 65 歳ぐらいまで | 6. 85 歳ぐらいまで |
| 3. 70 歳ぐらいまで | 7. できればすぐにもやめたい |
| 4. 75 歳ぐらいまで | 8. わからない |

→ 問 4-1へ進んでください。

問 3-3 問 3-1で「2. 仕事をしていない」に○をつけた方にうかがいます。

(1) 仕事をしていない理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | |
|-------------------------------|
| 1. 働きたいが、条件に合う働くところがない |
| 2. 働きたいが、年齢制限で働くところが見つからない |
| 3. 体力・健康面に不安がある |
| 4. 収入を増やそうと思わない |
| 5. 趣味に時間を使いたい |
| 6. ボランティアや町内会・自治会活動などに時間を使いたい |
| 7. 家事や介護・育児などで家でなければならぬことがある |
| 8. きっかけや情報がない |
| 9. 特に理由はない |
| 10. その他（ ） |

5

(2) 最後に仕事をしてしたのは何歳ぐらいまでですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------|----------------|
| 1. 満 49 歳以下 | 6. 満 70～74 歳 |
| 2. 満 50～54 歳 | 7. 満 75～79 歳 |
| 3. 満 55～59 歳 | 8. 満 80～84 歳 |
| 4. 満 60～64 歳 | 9. 満 85 歳以上 |
| 5. 満 65～69 歳 | 10. 仕事をしたことはない |

(3) 今後、仕事をしたいと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1. ぜひとも仕事をしたい | → 次の質問へ進んでください。 |
| 2. できれば仕事をしたい | |
| 3. あまり仕事をしたいと思わない | → 問 4-1へ進んでください。 |
| 4. まったく仕事をしたいと思わない | |
| 5. わからない | |

(4) 今後、仕事をしたいと思う理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 生活費のため | 8. 社会の役に立ちたい |
| 2. 将来に備えて貯蓄するため | 9. 健康の維持・介護予防に役立つ |
| 3. お小遣い程度の収入がほしい | 10. 同僚との交友関係を持ちたい |
| 4. 知識や経験が深まる・広がる | 11. 何もしないと退屈 |
| 5. 知識や経験が生かせる | 12. 特に理由はない |
| 6. 生きがい得られる | 13. その他（ ） |
| 7. 社会人としての責任 | |

(5) 今後、仕事をするうえで必要だと思う条件は何ですか。あてはまるものに3つまで○をつけてください。

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 収入（賃金） | 7. 短い時間や少ない日数での勤務 |
| 2. 家庭や子育てとの両立 | 8. 自宅から勤務場所が近い |
| 3. 体力・健康面で無理なく働ける | 9. 安全に働ける職場環境 |
| 4. 経験や能力が生かせる | 10. 職場の人間関係 |
| 5. 経験がなくてもできる | 11. 特に条件はない |
| 6. 役割分担が明確・わかりやすい | 12. その他（ ） |

6

(6) 今後、仕事をするとしたら、何歳ぐらいまで仕事をしたいと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|----------------|--------------|
| 1. 働けるうちはいつまでも | 5. 80 歳ぐらいまで |
| 2. 65 歳ぐらいまで | 6. 85 歳ぐらいまで |
| 3. 70 歳ぐらいまで | 7. わからない |
| 4. 75 歳ぐらいまで | |

4 地域活動・ボランティア活動について

問 4-1 あなたは現在、町内会・自治会などの地域活動やボランティア活動をしていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 活動している → 問 4-2へ進んでください。
2. 活動していない → 問 4-3へ進んでください。

問 4-2 問 4-1で「1. 活動している」に○をつけた方にうかがいます。

(1) どのような組織・形態で活動していますか。もっとも活動機会の多いもの1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------|----------------|
| 1. 個人・家族での活動 | 7. NPO法人 |
| 2. 町内会・自治会 | 8. 商店街振興組合 |
| 3. PTA | 9. 学校・勤務先 |
| 4. 老人クラブ | 10. サークル等のグループ |
| 5. 子ども会 | 11. その他（ ） |
| 6. ボランティア団体 | |

(2) (1) で回答したものについて、どのような地域・範囲で活動していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | |
|---------------------|
| 1. 自宅近くの地域、町内会の範囲 |
| 2. 自宅のある区の範囲 |
| 3. 札幌市内（自宅のある区に限らず） |
| 4. 国内、北海道内 |
| 5. その他（ ） |

7

(3) (1) で回答したものについて、具体的にどのような活動をしていますか。あてはまるもの**すべてに○**をつけてください。

1. 環境の保全・美化に関する活動
(ごみ拾い・ごみステーションの管理、花植え・緑化活動など)
2. 地域交流に関する活動
(お祭り・運動会・盆踊り・地域サロンの企画や運営など)
3. 文化・伝承活動
(郷土芸能の伝承など)
4. 雪対策に関する活動
(凍結道路への砂まき、福祉除雪などの除雪支援など)
5. 地域の安全に関する活動
(防災、防犯パトロール、通学路での安全確認、交通安全啓発運動など)
6. 教育・子育て支援に関する活動
(学習支援、子どもの見守り、声かけ、子育てサロンの運営など)
7. 高齢者や障がい者の支援に関する活動
(話し相手、安否確認、家事援助、介護など)
8. 観光・経済に関する活動
(観光ボランティア、起業支援など)
9. 募金や寄付に関する活動
(募金・寄付活動の企画や運営など)
10. その他 ()

(4) (1) で回答したものについて、活動している理由は何ですか。あてはまるもの**すべてに○**をつけてください。

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1. 楽しいから | 8. 知識や経験が生かせる |
| 2. 知識や経験が深まる・広がる | 9. 周囲からの信頼・評価 |
| 3. 仲間との交流・団らん | 10. 何もしないと退屈 |
| 4. 人との出会い | 11. 順番・割り当てのため |
| 5. 健康の維持・介護予防 | 12. 特に理由はない |
| 6. 社会での居場所・役割がほしい | 13. その他 () |
| 7. 人や社会・地域の役に立ちたい | |

(5) (1) で回答したものについて、活動を始めたきっかけは何でしたか。あてはまるもの**すべてに○**をつけてください。

- | | |
|------------------------------|-------------------|
| 1. 新聞やテレビ、雑誌の記事 | 6. 友人の勧め・紹介 |
| 2. 地域情報誌の記事 | 7. 町内会・民生委員の誘い・紹介 |
| 3. インターネット | 8. 学校や職場での勧め・紹介 |
| 4. 札幌市や社会福祉協議会などが発行したチラシ・広報誌 | 9. 活動の現場を見て |
| 5. 家族の勧め・紹介 | 10. 順番・割り当てのため |
| | 11. その他 () |

(3) (2) で回答した活動をしてみたい理由は何ですか。あてはまるもの**すべてに○**をつけてください。

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 楽しそう | 7. 人や社会・地域の役に立ちたい |
| 2. 知識や経験が深まる・広がる | 8. 知識や経験が生かせる |
| 3. 仲間との交流・団らん | 9. 周囲からの信頼・評価 |
| 4. 人との出会い | 10. 何もしないと退屈 |
| 5. 健康の維持・介護予防 | 11. 特に理由はない |
| 6. 社会での居場所・役割がほしい | 12. その他 () |

(4) (2) で回答した活動に参加するために必要だと思う条件は何ですか。あてはまるもの**すべてに○**をつけてください。

- | | |
|----------------------------------|-----------------------|
| 1. 健康や体力の状態に合った内容 | 7. 自宅から活動場所が近い |
| 2. 興味がある活動内容 | 8. 交通費などの実費程度の収入が得られる |
| 3. 自分の知識や経験が生かせる | |
| 4. 友人や仲間がいる | 9. 生計を支える収入が得られる |
| 5. 義務や拘束が少なく、自分の都合の良い時間に気軽に参加できる | 10. 特に条件はない |
| 6. 役割分担が明確・わかりやすい | 11. その他 () |

5 高齢者と社会のかかわりについて

問 5-1 あなたは、「高齢者」とは何歳ぐらいからだと思いますか。あてはまるもの**1つに○**をつけてください。

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 年齢では判断できない | 5. 75 歳ぐらいから |
| 2. 60 歳ぐらいから | 6. 80 歳ぐらいから |
| 3. 65 歳ぐらいから | 7. 85 歳ぐらいから |
| 4. 70 歳ぐらいから | 8. その他 () |

問 5-2 あなたは、普段の生活で、家族以外に若い世代との交流（日常的な会話、一緒に行動・活動するなど）はありますか。あてはまるもの**1つに○**をつけてください。

- | | |
|----------|--------------|
| 1. よくある | 4. まったくない |
| 2. たまにある | 5. どちらともいえない |
| 3. あまりない | |

(6) 現在の活動に限らず、今後、何歳ぐらいまで活動をしたいと思えますか。あてはまるもの**1つに○**をつけてください。

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 活動できるうちはいつまでも | 5. 80 歳ぐらいまで |
| 2. 65 歳ぐらいまで | 6. 85 歳ぐらいまで |
| 3. 70 歳ぐらいまで | 7. できればすぐにでもやめたい |
| 4. 75 歳ぐらいまで | 8. わからない |

→ **問 5-1**へ進んでください。

問 4-3 **問 4-1**で「2. 活動していない」に○をつけた方にうかがいます。

(1) 活動していない理由は何ですか。あてはまるもの**すべてに○**をつけてください。

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 仕事で時間がない | 7. 人間関係が不安・わずらわしい |
| 2. 家事や介護・育児で時間がない | 8. 自分にあった活動が見つからない |
| 3. 経済的に余裕がない | 9. 体力・健康面に不安がある |
| 4. 趣味に時間を使いたい | 10. 意欲がわかない、関心がない |
| 5. きっかけや情報がない | 11. 特に理由はない |
| 6. 一緒に活動する仲間がいない | 12. その他 () |

(2) 今後してみたい地域活動やボランティア活動はありますか。あてはまるもの**すべてに○**をつけてください。

1. 環境の保全・美化に関する活動
(ごみ拾い・ごみステーションの管理、花植え・緑化活動など)
2. 地域交流に関する活動
(お祭り・運動会・盆踊り・地域サロンの企画や運営など)
3. 文化・伝承活動
(郷土芸能の伝承など)
4. 雪対策に関する活動
(凍結道路への砂まき、福祉除雪などの除雪支援など)
5. 地域の安全に関する活動
(防災、防犯パトロール、通学路での安全確認、交通安全啓発運動など)
6. 教育・子育て支援に関する活動
(学習支援、子どもの見守り、声かけ、子育てサロンの運営など)
7. 高齢者や障がい者の支援に関する活動
(話し相手、安否確認、家事援助、介護など)
8. 観光・経済に関する活動
(観光ボランティア、起業支援など)
9. 募金や寄付に関する活動
(募金・寄付活動の企画や運営など)
10. その他 ()
11. 特にない → **問 5-1**へ (11.以外を選択した方は次の質問へ)

問 5-3 あなたは、高齢者と若い世代の交流（日常的な会話、一緒に行動・活動するなど）が必要だと思いますか。あてはまるもの**1つに○**をつけてください。

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. とても必要だと思う | 4. まったく必要だと思わない |
| 2. まあ必要だと思う | 5. どちらともいえない |
| 3. あまり必要だと思わない | |

問 5-4 あなたは、自分の老後について、どのようなことに不安を感じていますか。あてはまるもの**すべてに○**をつけてください。

1. 健康
2. 生活費・医療費
3. 仕事
4. 家事（食事の準備、掃除など）
5. 除雪
6. 自分の介護
7. 家族（配偶者・親など）の介護
8. 家族関係
9. 相談できる相手
10. 社会とのつながり
11. 生きがいや楽しみ
12. 特に不安はない
13. その他 ()

問 5-5 あなたは、自分の老後について、どのようなイメージを持っていましたか（または持っていますか）。もっともあてはまるもの**1つに○**をつけてください。

1. 働けるうちは、いつまでも働き続けている
2. 働きたくはないが、ずっと働いている
3. ボランティアや町内会活動を中心にすごしている
4. 家族中心の暮らしをしている
5. 自由気ままに好きなことをしている（趣味やスポーツなど）
6. 特に何も考えていなかった（考えていない）
7. その他 ()

64歳以下調査では設問除外

問 5-6 あなたは、いわゆる「第二の人生」での社会参加（自分や配偶者が退職した後や子どもが自立した後の就労・地域活動・ボランティア活動など）について、どのような準備や情報収集をしましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1. 書籍・パンフレットなどで情報収集
2. インターネットで情報収集
3. セミナーやイベントなどに参加
4. あらかじめやりたいことを自分で具体的に計画
5. 周囲の人たちから情報収集
6. 特に何もしなかった
7. その他 ()

64歳以下調査では設問除外

問 5-7 次にあげたもので、あなたが60歳よりも前に経験したことのある仕事(業種)はありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1. 事務 9. 製造・生産
2. 販売・営業 10. 交通・運輸
3. 調理 11. 建築・土木
4. 保育・子育て支援 12. 通信・IT
5. 教育・学習支援 13. 公安・警備
6. 医療・看護 14. その他専門職(弁護士など)
7. 介護・福祉 15. 経験したものはない
8. 農林漁業 16. その他 ()

64歳以下調査では設問除外

問 5-8 次にあげたもので、あなたが60歳よりも前に経験したものはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1. 町内会・自治会活動 (順番・持ち回りでの活動を除く)
2. P T A活動
3. 子ども会活動
4. 地域のイベント活動
5. ボランティア・N P O活動
6. サークル等のグループ活動
7. 近所の人たちとの付き合い
8. 育児休暇の取得
9. 保育園の送迎
10. 家事
11. 日常的な自分の子どもとの遊び
12. 近所の子どものとの交流
13. 介護・看護した経験(仕事以外)
14. 介護・看護された経験
15. 経験したものはない

問 5-9 あなたは、社会を支える側として活動する高齢者には、どのようなことが期待されていると思いますか。あてはまるものに3つまで○をつけてください。

- 1. 若い世代に知識や技術などを継承・指導すること
2. 若い世代と同様に働くこと
3. 若い世代の仕事をサポート・補助すること
4. 地域活動やボランティア活動を主導的な立場で企画・運営すること
5. 地域活動やボランティア活動に一般的な形で参加すること
6. 支えが必要な高齢者や子育て世帯を手助けすること
7. 子どもたちに経験や知恵を伝え、次世代を育成すること
8. 特に期待されているものはない
9. その他 ()

問 5-10 あなたは、高齢者が、就労・地域活動・ボランティア活動などを通じて、社会を支える側として活動できるのは、何歳ぐらいまでだと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1. 活動できるうちはいつまでも
2. 60歳ぐらいまで
3. 65歳ぐらいまで
4. 70歳ぐらいまで
5. 75歳ぐらいまで
6. 80歳ぐらいまで
7. 85歳ぐらいまで
8. その他 ()
9. わからない

問 5-11 あなたは、高齢者が、社会や周りの人からの支えを必要とするようになるのは、何歳ぐらいからだだと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1. 年齢では判断できない
2. 60歳ぐらいから
3. 65歳ぐらいから
4. 70歳ぐらいから
5. 75歳ぐらいから
6. 80歳ぐらいから
7. 85歳ぐらいから
8. その他 ()
9. わからない

6 少子高齢社会における行政の取組について

問 6-1 あなたは、今の社会では、若い世代に負担がかかっていると思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1. とてもそう思う
2. まあそう思う
3. あまりそう思わない
4. まったくそう思わない
5. どちらともいえない

問 6-2 あなたは、これからの少子高齢社会における高齢者や若い世代への支援や施策について、どのようにしていくべきだと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1. 高齢者をもっと重視すべき
2. どちらかといえば高齢者を重視すべき
3. どちらかといえば若い世代を重視すべき
4. 若い世代をもっと重視すべき
5. どちらともいえない

問 6-3 あなたは、高齢者のさまざまな社会参加のうち、札幌市が重点的に支援すべきことは何だと思いますか。もっともあてはまるものに3つまで○をつけてください。

- 1. 必要な収入を得るために、一般の仕事で働くこと
2. 生きがいのために、無理のない仕事で働くこと
3. 町内会などの地域活動やボランティア活動に参加すること
4. 健康づくりや介護予防のための活動に参加すること
5. スポーツや文化に関する活動に参加すること
6. 趣味や娯楽に関する活動に参加すること
7. 支援すべきものは特にない
8. その他 ()

問 6-4 あなたは、高齢者の社会参加を推進するために、札幌市はどのような取組を進めていくべきだと思いますか。あてはまるものに3つまで○をつけてください。

- 1. 生涯現役で活躍しようと思う市民意識づくり(P R活動など)をする
2. 共に活動する仲間を募るための出会いを支援する
3. 仕事や活動に関する情報をもっと積極的に提供する
4. 参加してみたい仕事や活動を気軽に体験できる機会を増やす
5. 仕事や活動に役立つ講座やセミナーを開催する
6. 仕事・活動をする場所や内容の相談に応じる窓口や人材を充実させる
7. 個々の条件や希望に合うような様々な仕事や活動の機会を提供する
8. 仕事や活動をするための場所や拠点づくりを支援する
9. 仕事や活動に参加するための活動費や交通費を支援する
10. 特に進めていくべき取組はない
11. その他 ()

社会参加に関することなどについて、ご意見やご要望がありましたらお書きください。

Blank box for writing opinions and requests.

ご協力ありがとうございました

調査票は同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに、8月15日(月)までに投函してください

※ 調査票・返信用封筒とも、名前や住所を記入する必要はありません

平成28年8月

調査票(案)(64歳以下対象)

社会参加に関する市民意識調査

- ご記入にあたってのお願い -

- ① このアンケートは平成28年8月1日現在の状況でお答えください。
- ② ご本人(封筒のあて名の方)の状況について回答してください。
- ③ ご本人が記入できない場合には、ご本人(封筒のあて名の方)の状況について、ご家族の方が答えられる範囲で代わりにご記入願います。
- ④ 回答は、調査票に直接記入してください。**名前、住所の記入は必要ありません。**
- ⑤ ご使用いただく筆記用具はどのようなものでも構いません。
- ⑥ このアンケートは回答を強制するものではありません。答えにくい質問、答えたくない質問については、記入する必要はありません。答えられる範囲でお答えください。
- ⑦ ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、平成28年8月15日(月)までにご投函ください。**(切手を貼る必要はありません。名前、住所の記入も不要です。)**

- 調査に関するお問い合わせについて -

札幌市 保健福祉局 高齢保健福祉部 高齢福祉課

TEL 211-2976 FAX 218-5179

1 ご自身の状況について

問 1-1 性別について、あてはまるものに○をつけてください。

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問 1-2 平成28年8月1日現在の年齢について、あてはまるものに○をつけてください。

- | | |
|------------|------------|
| 1. 満20~24歳 | 6. 満45~49歳 |
| 2. 満25~29歳 | 7. 満50~54歳 |
| 3. 満30~34歳 | 8. 満55~59歳 |
| 4. 満35~39歳 | 9. 満60歳以上 |
| 5. 満40~44歳 | |

問 1-3 お住まいの区について、あてはまるものに○をつけてください。

- | | | |
|--------|--------|-----------|
| 1. 中央区 | 5. 厚別区 | 9. 西区 |
| 2. 北区 | 6. 豊平区 | 10. 手稲区 |
| 3. 東区 | 7. 清田区 | 11. 札幌市以外 |
| 4. 白石区 | 8. 南区 | |

問 1-4 同居されている方はいますか。あてはまるものに○をつけてください。

- | | |
|------------------------|--|
| 1. ひとり暮らし | |
| 2. 夫婦二人暮らし | |
| 3. 家族・親族と同居(夫婦二人暮らし以外) | |
| 4. その他() | |

問 1-5 最終卒業学校(または在学中の学校)の種類について、あてはまるものに○をつけてください。

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 小学校・中学校 | 4. 各種専門学校・専修学校 |
| 2. 高等学校・旧制中学校 | 5. 大学・大学院 |
| 3. 短大・高等専門学校 | 6. その他() |

1

2 日常生活の全般について

問 2-1 あなたは、ご自身の健康状態について、どのように感じていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | |
|--------------|
| 1. とても健康 |
| 2. まあ健康 |
| 3. やや不健康 |
| 4. とても不健康 |
| 5. どちらともいえない |

問 2-2 あなたは、ご自身の家計の状況について、どのように感じていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. とてもゆとりがある | 4. まったくゆとりがない |
| 2. まあゆとりがある | 5. どちらともいえない |
| 3. あまりゆとりがない | 6. わからない |

問 2-3 あなたは、ご自身の家族関係(別居の家族を含む)について、どのように感じていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | |
|---------------|
| 1. とても良好である |
| 2. まあ良好である |
| 3. あまり良好ではない |
| 4. まったく良好ではない |
| 5. どちらともいえない |

問 2-4 あなたは、どのくらい近所との付き合いがありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | |
|-------------------------------|
| 1. 困ったときに相談したり助け合えるような付き合いがある |
| 2. お互いの家を行き来するような付き合いがある |
| 3. 立ち話をするような付き合いがある |
| 4. あいさつをする程度の付き合いがある |
| 5. 近所との付き合いはほとんどない |

2

問 2-5 あなたには、ご自身が困ったときに相談したり頼ったりできる相手(同居または別居の家族を含む)がいますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | |
|----------------------------|
| 1. 気軽に相談したり頼ったりできる相手がいる |
| 2. いざとなれば相談したり頼ったりできる相手がいる |
| 3. 相談したり頼ったりできる相手はあまりいない |
| 4. 相談したり頼ったりできる相手はまったくいない |

問 2-6 あなたは、お住まいの地域の交通の便について、どのように感じていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. とても交通の便がよい | 4. まったく交通の便がよい |
| 2. まあ交通の便がよい | 5. どちらともいえない |
| 3. あまり交通の便がよい | |

問 2-7 あなたは、ご自身の楽しみや趣味などのために、自由にできる時間がありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. 十分に自由な時間がある | 4. まったく自由な時間がない |
| 2. まあ自由な時間がある | 5. どちらともいえない |
| 3. あまり自由な時間がない | |

問 2-8 あなたには、普段の生活やささまざまな活動の中で、ご自身の意欲や能力を生かせる機会がありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 十分に生かせる機会がある | 4. まったく生かせる機会がない |
| 2. まあ生かせる機会がある | 5. どちらともいえない |
| 3. あまり生かせる機会がない | |

問 2-9 あなたは、ご自身が「社会や他人の役に立っている」、「社会や他人から必要とされている」など、社会の一員として役割を持っていると感じることがありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. 日ごろから感じている | 4. まったく感じることはない |
| 2. たまに感じることもある | 5. どちらともいえない |
| 3. あまり感じることはない | |

3

問 2-10 あなたは、ご自身の生活の全般について、どのくらい満足していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. とても満足している | 4. とても不満である |
| 2. まあ満足している | 5. どちらともいえない |
| 3. やや不満である | |

3 就労について

問 3-1 あなたは現在、収入のある仕事をしていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 仕事をしている → 問 3-2へ進んでください。
2. 仕事をしていない → 問 3-3へ進んでください。

問 3-2 問 3-1で「1. 仕事をしている」に○をつけた方にうかがいます。

(1) どのような雇用形態で仕事をしていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. 正社員・正職員 | 5. 自営業（家族の手伝いを含む） |
| 2. 契約社員・嘱託 | 6. 会社・団体の役員 |
| 3. パート・アルバイト | 7. その他（ ） |
| 4. 派遣社員 | |

(2) どのような内容（業種）の仕事をしていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|-------------|-------------------|
| 1. 事務 | 9. 製造・生産 |
| 2. 販売・営業 | 10. 交通・運輸 |
| 3. 調理 | 11. 建築・土木 |
| 4. 保育・子育て支援 | 12. 通信・IT |
| 5. 教育・学習支援 | 13. 公安・警備 |
| 6. 医療・看護 | 14. その他専門職（弁護士など） |
| 7. 介護・福祉 | 15. その他（ ） |
| 8. 農林漁業 | |

4

(3) 1週間の所定の労働時間（残業時間を除いた労働時間）はどのくらいですか。もっともあてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 週 35 時間以上 | 5. 週 15～19 時間 |
| 2. 週 30～34 時間 | 6. 週 10～14 時間 |
| 3. 週 25～29 時間 | 7. 週 10 時間未満 |
| 4. 週 20～24 時間 | 8. その他（ ） |

(4) 仕事をしている理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 生活費のため | 8. 社会の役に立ちたい |
| 2. 将来に備えて貯蓄するため | 9. 健康の維持・介護予防に役立つ |
| 3. お小遣い程度の収入がほしい | 10. 同僚との交友関係を持ちたい |
| 4. 知識や経験が深まる・広がる | 11. 何もしないと退屈 |
| 5. 知識や経験が生かせる | 12. 特に理由はない |
| 6. 生きがいを得られる | 13. その他（ ） |
| 7. 社会人としての責任 | |

(5) 現在の仕事に限らず、今後、何歳ぐらいまで仕事をしたいと思えますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1. 働けるうちはいつまでも | 7. 75 歳ぐらいまで |
| 2. 50 歳ぐらいまで | 8. 80 歳ぐらいまで |
| 3. 55 歳ぐらいまで | 9. 85 歳ぐらいまで |
| 4. 60 歳ぐらいまで | 10. できればすぐにでもやめたい |
| 5. 65 歳ぐらいまで | 11. わからない |
| 6. 70 歳ぐらいまで | |

→ 問 4-1へ進んでください。

問 3-3 問 3-1で「2. 仕事をしていない」に○をつけた方にうかがいます。

(1) 仕事をしていない理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | |
|-------------------------------|
| 1. 働きたいが、条件に合う働くところがない |
| 2. 働きたいが、年齢制限で働くところが見つからない |
| 3. 体力・健康面に不安がある |
| 4. 収入を増やそうと思わない |
| 5. 趣味に時間を使いたい |
| 6. ボランティアや町内会・自治会活動などに時間を使いたい |
| 7. 家事や介護・育児など家でしなければならぬことがある |
| 8. きっかけや情報がない |
| 9. 特に理由はない |
| 10. その他（ ） |

5

(2) 最後に仕事をしていたのは何歳ぐらいまでですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. 満 49 歳以下 | 4. 満 60～64 歳 |
| 2. 満 50～54 歳 | 5. 仕事をしたことはない |
| 3. 満 55～59 歳 | 6. わからない |

(3) 今後、仕事をしたいと思えますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1. ぜひとも仕事をしたい | → 次の質問へ進んでください。 |
| 2. できれば仕事をしたい | |
| 3. あまり仕事をしたいと思わない | → 問 4-1へ進んでください。 |
| 4. まったく仕事をしたいと思わない | |
| 5. わからない | |

(4) 今後、仕事をしたいと思う理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 生活費のため | 8. 社会の役に立ちたい |
| 2. 将来に備えて貯蓄するため | 9. 健康の維持・介護予防に役立つ |
| 3. お小遣い程度の収入がほしい | 10. 同僚との交友関係を持ちたい |
| 4. 知識や経験が深まる・広がる | 11. 何もしないと退屈 |
| 5. 知識や経験が生かせる | 12. 特に理由はない |
| 6. 生きがいを得られる | 13. その他（ ） |
| 7. 社会人としての責任 | |

(5) 今後、仕事をするうえで必要だと思う条件は何ですか。あてはまるものに3つまで○をつけてください。

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 収入（賃金） | 7. 短い時間や少ない日数での勤務 |
| 2. 家庭や子育てとの両立 | 8. 自宅から勤務場所が近い |
| 3. 体力・健康面で無理なく働ける | 9. 安全に働ける職場環境 |
| 4. 経験や能力が生かせる | 10. 職場の人間関係 |
| 5. 経験がなくてもできる | 11. 特に条件はない |
| 6. 役割分担が明確・わかりやすい | 12. その他（ ） |

(6) 今後、仕事をするとしたら、何歳ぐらいまで仕事をしたいと思えますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|----------------|--------------|
| 1. 働けるうちはいつまでも | 6. 70 歳ぐらいまで |
| 2. 50 歳ぐらいまで | 7. 75 歳ぐらいまで |
| 3. 55 歳ぐらいまで | 8. 80 歳ぐらいまで |
| 4. 60 歳ぐらいまで | 9. 85 歳ぐらいまで |
| 5. 65 歳ぐらいまで | 10. わからない |

6

4 地域活動・ボランティア活動について

問 4-1 あなたは現在、町内会・自治会などの地域活動やボランティア活動をしていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 活動している → 問 4-2へ進んでください。
2. 活動していない → 問 4-3へ進んでください。

問 4-2 問 4-1で「1. 活動している」に○をつけた方にうかがいます。

(1) どのような組織・形態で活動していますか。もっとも活動機会の多いもの1つに○をつけてください。

- | |
|----------------|
| 1. 個人・家族での活動 |
| 2. 町内会・自治会 |
| 3. P T A |
| 4. 老人クラブ |
| 5. 子ども会 |
| 6. ボランティア団体 |
| 7. N P O 法人 |
| 8. 商店街振興組合 |
| 9. 学校・勤務先 |
| 10. サークル等のグループ |
| 11. その他（ ） |

(2) (1) で回答したものについて、どのような地域・範囲で活動していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | |
|---------------------|
| 1. 自宅近くの地域、町内会の範囲 |
| 2. 自宅のある区の範囲 |
| 3. 札幌市内（自宅のある区に限らず） |
| 4. 国内、北海道内 |
| 5. その他（ ） |

7

(3) (1) で回答したものについて、具体的にどのような活動をしていますか。あてはまるもの**すべてに○**をつけてください。

1. 環境の保全・美化に関する活動
(ごみ拾い・ごみステーションの管理、花植え・緑化活動など)
2. 地域交流に関する活動
(お祭り・運動会・盆踊り・地域サロンの企画や運営など)
3. 文化・伝承活動
(郷土芸能の伝承など)
4. 雪対策に関する活動
(凍結道路への砂まき、福祉除雪などの除雪支援など)
5. 地域の安全に関する活動
(防災、防犯パトロール、通学路での安全確認、交通安全啓発運動など)
6. 教育・子育て支援に関する活動
(学習支援、子どもの見守り、声かけ、子育てサロンの運営など)
7. 高齢者や障がい者の支援に関する活動
(話し相手、安否確認、家事援助、介護など)
8. 観光・経済に関する活動
(観光ボランティア、起業支援など)
9. 募金や寄付に関する活動
(募金・寄付活動の企画や運営など)
10. その他 ()

(4) (1) で回答したものについて、活動している理由は何ですか。あてはまるもの**すべてに○**をつけてください。

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1. 楽しいから | 8. 知識や経験が生かせる |
| 2. 知識や経験が深まる・広がる | 9. 周囲からの信頼・評価 |
| 3. 仲間との交流・団らん | 10. 何もしないと退屈 |
| 4. 人との出会い | 11. 順番・割り当てのため |
| 5. 健康の維持・介護予防 | 12. 特に理由はない |
| 6. 社会での居場所・役割がほしい | 13. その他 () |
| 7. 人や社会・地域の役に立ちたい | |

(5) (1) で回答したものについて、活動を始めたきっかけは何でしたか。あてはまるもの**すべてに○**をつけてください。

- | | |
|------------------------------|-------------------|
| 1. 新聞やテレビ、雑誌の記事 | 6. 友人の勧め・紹介 |
| 2. 地域情報誌の記事 | 7. 町内会・民生委員の誘い・紹介 |
| 3. インターネット | 8. 学校や職場での勧め・紹介 |
| 4. 札幌市や社会福祉協議会などが発行したチラシ・広報誌 | 9. 活動の現場を見て |
| 5. 家族の勧め・紹介 | 10. 順番・割り当てのため |
| | 11. その他 () |

(6) 現在の活動に限らず、今後、何歳ぐらいまで活動をしたいと思えますか。あてはまるもの**1つに○**をつけてください。

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 活動できるうちはいつまでも | 7. 75歳ぐらいまで |
| 2. 50歳ぐらいまで | 8. 80歳ぐらいまで |
| 3. 55歳ぐらいまで | 9. 85歳ぐらいまで |
| 4. 60歳ぐらいまで | 10. できればすぐにでもやめたい |
| 5. 65歳ぐらいまで | 11. わからない |
| 6. 70歳ぐらいまで | |

→ **問 5-1**へ進んでください。

問 4-3 **問 4-1**で「2. 活動していない」に○をつけた方にうかがいます。

(1) 活動していない理由は何ですか。あてはまるもの**すべてに○**をつけてください。

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 仕事で時間がない | 7. 人間関係が不安・わずらわしい |
| 2. 家事や介護・育児で時間がない | 8. 自分にあった活動が見つからない |
| 3. 経済的に余裕がない | 9. 体力・健康面に不安がある |
| 4. 趣味に時間を使いたい | 10. 意欲がわかない、関心がない |
| 5. きっかけや情報がない | 11. 特に理由はない |
| 6. 一緒に活動する仲間がいない | 12. その他 () |

(2) 今後してみたい地域活動やボランティア活動はありますか。あてはまるもの**すべてに○**をつけてください。

1. 環境の保全・美化に関する活動
(ごみ拾い・ごみステーションの管理、花植え・緑化活動など)
2. 地域交流に関する活動
(お祭り・運動会・盆踊り・地域サロンの企画や運営など)
3. 文化・伝承活動
(郷土芸能の伝承など)
4. 雪対策に関する活動
(凍結道路への砂まき、福祉除雪などの除雪支援など)
5. 地域の安全に関する活動
(防災、防犯パトロール、通学路での安全確認、交通安全啓発運動など)
6. 教育・子育て支援に関する活動
(学習支援、子どもの見守り、声かけ、子育てサロンの運営など)
7. 高齢者や障がい者の支援に関する活動
(話し相手、安否確認、家事援助、介護など)
8. 観光・経済に関する活動
(観光ボランティア、起業支援など)
9. 募金や寄付に関する活動
(募金・寄付活動の企画や運営など)
10. その他 ()
11. 特にない → **問 5-1**へ (11.以外を選択した方は次の質問へ)

(3) (2) で回答した活動をしてみたい理由は何ですか。あてはまるもの**すべてに○**をつけてください。

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 楽しそう | 7. 人や社会・地域の役に立ちたい |
| 2. 知識や経験が深まる・広がる | 8. 知識や経験が生かせる |
| 3. 仲間との交流・団らん | 9. 周囲からの信頼・評価 |
| 4. 人との出会い | 10. 何もしないと退屈 |
| 5. 健康の維持・介護予防 | 11. 特に理由はない |
| 6. 社会での居場所・役割がほしい | 12. その他 () |

(4) (2) で回答した活動に参加するために必要だと思う条件は何ですか。あてはまるもの**すべてに○**をつけてください。

- | | |
|----------------------------------|-----------------------|
| 1. 健康や体力の状態に合った内容 | 7. 自宅から活動場所が近い |
| 2. 興味がある活動内容 | 8. 交通費などの実費程度の収入が得られる |
| 3. 自分の知識や経験が生かせる | |
| 4. 友人や仲間がいる | 9. 生計を支える収入が得られる |
| 5. 義務や拘束が少なく、自分の都合の良い時間に気軽に参加できる | 10. 特に条件はない |
| 6. 役割分担が明確・わかりやすい | 11. その他 () |

5 高齢者と社会のかかわりについて

問 5-1 あなたは、「高齢者」とは何歳ぐらいからだと思いますか。あてはまるもの**1つに○**をつけてください。

- | | |
|---------------|-------------|
| 1. 年齢では判断できない | 5. 75歳ぐらいから |
| 2. 60歳ぐらいから | 6. 80歳ぐらいから |
| 3. 65歳ぐらいから | 7. 85歳ぐらいから |
| 4. 70歳ぐらいから | 8. その他 () |

問 5-2 あなたは、普段の生活で、家族以外に高齢者との交流（日常的な会話、一緒に行動・活動するなど）はありますか。あてはまるもの**1つに○**をつけてください。

- | | |
|----------|--------------|
| 1. よくある | 4. まったくない |
| 2. たまにある | 5. どちらともいえない |
| 3. あまりない | |

問 5-3 あなたは、高齢者と若い世代の交流（日常的な会話、一緒に行動・活動するなど）が必要だと思いますか。あてはまるもの**1つに○**をつけてください。

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. とても必要だと思う | 4. まったく必要だと思わない |
| 2. まあ必要だと思う | 5. どちらともいえない |
| 3. あまり必要だと思わない | |

問 5-4 あなたは、自分の老後について、どのようなことに不安を感じていますか。あてはまるもの**すべてに○**をつけてください。

1. 健康
2. 生活費・医療費
3. 仕事
4. 家事（食事の準備、掃除など）
5. 除雪
6. 自分の介護
7. 家族（配偶者・親など）の介護
8. 家族関係
9. 相談できる相手
10. 社会とのつながり
11. 生きがいや楽しみ
12. 特に不安はない
13. その他 ()

問 5-5 あなたは、自分の老後について、どのようなイメージを持っていますか（または持っていましたか）。もっともあてはまるもの**1つに○**をつけてください。

1. 働けるうちは、いつまでも働き続けている
2. 働きたくはないが、ずっと働いている
3. ボランティアや町内会活動を中心にすごしている
4. 家族中心の暮らしをしている
5. 自由気ままに好きなことをしている（趣味やスポーツなど）
6. 特に何も考えていない（考えていなかった）
7. その他 ()

問 5-6 あなたは、社会を支える側として活動する高齢者に、どのようなことを期待しますか。あてはまるものに3つまで○をつけてください。

1. 若い世代に知識や技術などを継承・指導すること
2. 若い世代と同様に働くこと
3. 若い世代の仕事をサポート・補助すること
4. 地域活動やボランティア活動を主導的な立場で企画・運営すること
5. 地域活動やボランティア活動に一般的な形で参加すること
6. 支えが必要な高齢者や子育て世帯を手助けすること
7. 子どもたちに経験や知恵を伝え、次世代を育成すること
8. 特に期待されているものはない
9. その他 ()

問 5-7 あなたは、高齢者が、就労・地域活動・ボランティア活動などを通じて、社会を支える側として活動できるのは、何歳ぐらいまでだと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 活動できるうちはいつまでも
2. 60歳ぐらいまで
3. 65歳ぐらいまで
4. 70歳ぐらいまで
5. 75歳ぐらいまで
6. 80歳ぐらいまで
7. 85歳ぐらいまで
8. その他 ()
9. わからない

問 5-8 あなたは、高齢者が、社会や周りの人からの支えを必要とするようになるのは、何歳ぐらいからだと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 年齢では判断できない
2. 60歳ぐらいから
3. 65歳ぐらいから
4. 70歳ぐらいから
5. 75歳ぐらいから
6. 80歳ぐらいから
7. 85歳ぐらいから
8. その他 ()
9. わからない

12

6 少子高齢社会における行政の取組について

問 6-1 あなたは、今の社会では、若い世代に負担がかかっていると思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. とてもそう思う
2. まあそう思う
3. あまりそう思わない
4. まったくそう思わない
5. どちらともいえない

問 6-2 あなたは、これからの少子高齢社会における高齢者や若い世代への支援や施策について、どのようにしていくべきだと考えますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 高齢者をもっと重視すべき
2. どちらかといえば高齢者を重視すべき
3. どちらかといえば若い世代を重視すべき
4. 若い世代をもっと重視すべき
5. どちらともいえない

問 6-3 あなたは、高齢者のさまざまな社会参加のうち、札幌市が重点的に支援すべきことは何だと思えますか。もっともあてはまるものに3つまで○をつけてください。

1. 必要な収入を得るために、一般の仕事で働くこと
2. 生きがいのために、無理のない仕事で働くこと
3. 町内会などの地域活動やボランティア活動に参加すること
4. 健康づくりや介護予防のための活動に参加すること
5. スポーツや文化に関する活動に参加すること
6. 趣味や娯楽に関する活動に参加すること
7. 支援すべきものは特になし
8. その他 ()

13

問 6-4 あなたは、高齢者の社会参加を推進するために、札幌市はどのような取組を進めていくべきだと思いますか。あてはまるものに3つまで○をつけてください。

1. 生涯現役で活躍しようと思う市民意識づくり（PR活動など）をする
2. 共に活動する仲間を募るための出会いを支援する
3. 仕事や活動に関する情報をもっと積極的に提供する
4. 参加してみたい仕事や活動を気軽に体験できる機会を増やす
5. 仕事や活動に役立つ講座やセミナーを開催する
6. 仕事・活動をする場所や内容の相談に応じる窓口や人材を充実させる
7. 個々の条件や希望に合うような様々な仕事や活動の機会を提供する
8. 仕事や活動をするための場所や拠点づくりを支援する
9. 仕事や活動に参加するための活動費や交通費を支援する
10. 特に進めていくべき取組はない
11. その他 ()

社会参加に関する事などについて、
ご意見やご要望がありましたらお書きください。

ご協力ありがとうございました

調査票は同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに、
8月15日（月）までに投函してください

※ 調査票・返信用封筒とも、名前や住所を記入する必要はありません

14